

保育科学研究

第3卷 (2012年度)

社会福祉法人日本保育協会 保育科学研究所

発刊にあたって

平成24年度の研究成果をまとめた「保育科学研究」第3巻を発刊いたします。

このたびの研究は昨年度につづいて、6件が研究計画の段階で運営委員会において承認を得、研究実施報告書として提出されました。本年度から総合テーマを掲げることが運営委員会で決まり、今後はテーマに添った研究を行うことになりました。24年度の総合テーマは「安全・安心」です。

また、25年度の研究のテーマについても24年度の「安全・安心」を継続し、小テーマを「地域と子どもの環境」とすることが決まりました。現在、6件の研究が計画されており、研究開始に向けて手続きの準備中です。

昨年9月にこどもの城で開催された保育科学研究所第2回学術集会において、23年度の6件の研究についての発表を中心に、講演、シンポジウムを実施いたしました。この概要は、「研究所だより第12号」に掲載しておりますが、ホームページ「保育科学研究所」からもご覧いただけます。

研究所の新しい動きとして、一つは「日本保育協会保育科学研究所倫理委員会」が設置されました。これは平成24年の6月の運営委員会で設置が決定され、それを受けて準備を行い、25年2月に細則、委員が決まりました。細則は、「日本保育協会保育科学研究所において行われる保育に関する調査・研究等が、個人情報保護、倫理面から人権の尊重および科学的妥当性をもって行われることを目的とし、研究所に倫理委員会を設置する。」としています。

もう一つ、日本保育協会が日本学術会議の「教育関連学会連絡協議会」に加盟しました。これは、教育の学術研究の相互交流を目的とするものであり、日本学術会議の登録団体（日本学術会議協力学術研究団体）であることを条件としています。平成25年4月20日東京大学で結成総会が行われ、日本教育学会をはじめ70団体が加盟しましたが、保育・幼児教育関連の加盟は日本保育協会、日本保育学会等です。

連絡協議会の今後の活動として、シンポジウムの開催、国への提言、協議会としての研究を行うことなどが予定されています。保育科学研究所が近接する学協会と連絡をとり、それらが新たな研究活動のエネルギーとなるよう、皆様のご協力をいただき研究の充実に努めてまいりたいと思います。

今後ともよろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成25年4月

日本保育協会保育科学研究所長
巷野悟郎

目 次

発刊にあたって (巷野悟郎)

研究論文

リスクマネジメントについての

保育所長の意識と取組みに関する研究 (矢藤誠慈郎)……………1

人材確保・育成に関する

保育士養成校と保育所の連携に関する研究 (パート2)

～安全教育を取り入れた実習の工夫～ (高橋滋孝)……………16

保育所における災害時の栄養・給食対応に関する研究 (迫 和子)……………33

保育のリスクについて考える

—保育の実践者の「自己意識」を高めるために— (崎村英樹)……………42

乳児保育におけるトラブルの要因とその解決に関する研究 (森本信也)……………50

障害のある子どもの生きやすさを支える支援に関する研究 (飯村敦子)……………75

(資 料)

日本保育協会保育科学研究所細則……………99

日本保育協会保育科学研究所倫理委員会細則……………101

日本保育協会保育科学研究所運営委員会……………102

